

鎌倉市SDGsつながりポイント かわら版

鎌倉市SDGsつながりポイントは、鎌倉市で導入されている人と人をつなげるコミュニティ通貨です（「まちのコイン」というアプリを利用します。コインの単位は「クルッポ」）。このかわら版では、鎌倉市SDGsつながりポイントを通じて地域の人と仲良くなった！という体験談をお伝えします。

今回ご紹介するのは、「二〇二二年下半期クルッポアワード」のユーザー部門一位になったクルッポの達人、吉田梢（こずえ）さん。小学校と保育園に通う二人の息子さんのお母さんでもあり、ご家族でクルッポを活用しながら、鎌倉のまちを楽しんでいます。



4.4.10
鎌広受付

安心して子育てできるようになりました。

吉田さんは、元々日本エコロジーアップサイクル協会で行なっている、地域のショップバッグ等をアップサイクルしてマスク入れをつくる取り組みを行なっていました。アップサイクル協会がクルッポのスポットとなったことで、マスク入れをひとつつくと100クルッポももらえるようになり、家事育児や仕事の隙間時間でマスク入れを制作してクルッポを貯めているのだそう。

さらに、毎週お子さんの習いごとで鎌倉駅近くに来る時には市役所で、週末に家族でよく訪れる深沢のONE PARKでと、生活動線の中で自然にクルッポを集める習慣がいつの間にかついています。

集めたクルッポは、もったいないマーケットで規格外の野菜やお子さんが使えるお古のおもちゃなどと交換したり、イベントで使っているのだそう。お気に入りには、メーカーズシャツ鎌倉のシャツの端切れ。高級な素材を使うのがもったいなく、もっぱら眺めているのだとか(笑)。

特に印象に残っているのが、クルッポアンバサダーでもある、小川コータ&たまそんさんのライブで「歌詞の一部をあなたの名前に変えて歌います！」という体験。自分の名前ではなく、こたとまファンのお友だちの名前を入れて誕生日のサプライズプレゼントにしたのだとか。当日のライブでは、観客全員から祝福を受け、お友だちと一緒に号泣だったそうです。

そんな吉田さんがクルッポを通じて感じているのは、安心して子育てができる環境をつくるのができたということ。学校とご自宅間のスポットで積極



週末は佐助のシェア畑のお手伝いをすることも

的にクルッポを使い、スポットの人と仲良くなったことで、お子さんの顔も知ってもらえることができたのだそうです。その結果、登下校時の様子を聞くことができたし、「この間ここで転んでいたよ」などの情報が入ってくるようになったのだとか。

スポットとのつながりが、安心できる暮らしにもつながるんですね。お子さんのいる保護者のみなさんもぜひ、まちのコインを利用してみてください。